

県連通信

□■□■第48号■□■□

発行：青森県生活協同組合連合会

住所：〒038-0012

青森県青森市柳川2丁目4-22

連絡先：Tel：017-766-1521

Fax：017-766-3136

◆◆県連理事研修会開催しました◆◆

8月26日(火)県連理事研修会を県観光物産館アスパムで開催しました。日生協支援部の宮部氏に「生活協同組合の理事の役割・権限・責任」についての講演をいただきました。参加者は一期2年目の理事さんから2007年の生協法改正前からの理事さんと幅広く参加しましたが参加者みんながわかりやすく、図解を交えての講演でした。

改めて理事の役割の大切さや責任について学びました。講演後のグループ交流は、「生協で理事として大事にしたいこと」の一点で交流しました。

参加した理事さんは「疑問は放置しない」「理事という立場だが一組合員としても発言していく」「地域と生協の仲を取り持ち、組合員の立場で事業活動を行っていききたい」などの積極的な発言がありました。

◆◆◆第30回青森県生協大会◆◆◆

たくさんのご参加お待ちしております。

日時：2014年11月18日(火)

10時30分～14時30分

・お楽しみ抽選会あります

会場：リンクステーションホール5階

(青森市文化会館・大会議室)

・青森市堤町1丁目4-1

講師：天 笠 (あまがさ) 啓 祐 氏

市民バイオテクノロジー情報室代表



<講演の宮部氏とグループ交流の様子>

◆◆すすめ「被災者生活再建支援制度拡充」署名そしてNPT署名◆◆

7月始めの県内全体の学習講演会を受けて、各生協で支援署名活動の取組が進んでいます。9月末までの署名集約数は11,338筆になりました。

この中で県民生協はすでに自主目標を達成し、さらに活動の輪を広げ他の生協を引っ張っています。また他の生協でも11月末の集約に向けて独自の学習会を設定して取り組みを強化しています。医療生協やほかの生協もそれぞれ集約が進んでいます。コープあおもりでは、組合員さんと直接お会いできない本部機関で、組合員活動部の三浦部長が15名の内勤者に対して学習会を行い取り組みを進めています。また平野会長や小野寺常務理事も積極的に友誼団体に出かけて署名のお願いをしています。



<内勤者の学習会>

10月には多くの県民に取り組みの大切さをお知らせするために、街頭での署名活動も予定しています。(県内の生協の署名は50,000筆を目標にしています)

・同時に2015年4・5月に開催が予定されている核不拡散(NPT)再検討会議再開に向けた署名活動も進めています(9月末現在2,445筆)。県生協連から3名の代表を出そうと理事会で確認、そのための運動も始めました。代表になった方々には11月開催の生協大会での決意表明、事前学習を踏まえニューヨークでの行動の後押しをすることにしています。

《被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める署名活動の街頭署名を行います》

日時：10月22日(水) 午前11時30分～12時15分(11時00分集合)

場所：青森駅前 新町通り「アウガ」前

◇◇「ユニセフのつどい」を開催しました◇◇

9月12日(金) アスパムにおいてユニセフのつどいを開催し、①生協でユニセフに取り組む意義について～日生協組合員活動部:中村氏～、②ネパール指定募金のまとめと新たに開始する東ティモール指定募金について～ユニセフ協会:石尾氏～、の2点の講演内容でした。

参加者は生協で行っている「スマイルスクールプロジェクト」で学校への支援活動について理解を深めコアノンロール等での1円募金の大きさに驚いていました。引き続き購入していきたいと感想を寄せていました。また、3期9年続けたネパール指定募金の成果を確認し、新たに始まった「東ティモール指定募金」について理解を深めました。講演の最後に県連小野寺常務理事より「支援は自立することを助けること、本日の講演内容を多くの方に広げてほしいと参加者に伝えてまとめました。この日は、東日本大震災の復興支援商品等が当たる「ユニセフ＊ビンゴ」も昼食時に行われ5,400円の募金が寄せられました。



＜ユニセフビンゴクイズと講演する石尾氏＞

コープあおもりの地域活動担当者と地域の委員さんは、弘前市内の中学校文化祭でユニセフ活動の紹介、写真パネル、水瓶、地雷のレプリカ、蚊帳等の展示を行いました。会場となった教室には生徒以外にも多くのPTAの方々も見学に来ていて、実際に手に触れたり水瓶には水を入れて持ちあげて重さを体験したりしていました。蚊帳には一人では入れないと六人がグループで入ったりしていました。また今回初めて募金箱も用意して募金の訴えもしました。地域ではこの後も小中学校での展示を予定しています。



＜蚊帳の体験と水瓶の重さ体験＞

◇◇「2014 灯油学習会」を開催しました◇◇

9月30日(火) にアスパムにおいて、元「灯油裁判」原告輔佐人の岩佐恵美氏を迎え「灯油裁判と生協運動」という内容で講演をいただきました。例年になく残暑が短く灯油を使い始める時期が早まっている中で、灯油の価格(高止まり傾向)を気にしながらの冬を迎えることへの不安を抱える中での開催となりました。

岩佐氏は、山形「鶴岡生協」で取り組んだ灯油裁判は、灯油価格でヤミカルテルが結ばれ組合員が不利益を被ったことの請求の裁判や、それだけにとどまらず組合員が共同することの意義、消費者の「権利裁判」など今に至る運動の成果があったことを始めに報告しました。鶴岡生協の運動は石商のヤミカルテルで不当な値上げが行われ、組合員が不利益を被ったもので、公取委を動かし元売りへの強制立ち入り調査の実施、検察への告発と大きな動きとなりました。黙っていることなく声を上げていくことの大切さを参加者で確認し終了しました。



＜講演中の岩佐恵美氏＞



・今年で3年目のねぶた参加、福島からは31名の親子が青森へ。到着後の歓迎会で自己紹介をした後、準備された海の幸がたっぷり入った「シーフードカレー」を食べ、早速ねぶた衣装に着替えていざ出陣（一緒に参加のお母さんたちもねぶた衣装に）。運行には福島のみならず一緒に地元の組合員さんたちも参加しました（約150名）。この日は天気にも恵まれ、また土曜日とあって大変盛り上がりました。

Two photographs showing the group's activities. The left photo shows a group of people holding a large yellow banner with Japanese text. The right photo shows a group of people, including children, holding a large, colorful, and elaborate float or costume structure.



1947 年生まれ。現在ジャーナリストとして、原子力発電、遺伝子組み換え食品、電磁波など化学技術のもたらす問題点、科学技術と社会の関係について積極的に発言している。「原発はなぜこわいか」「遺伝子組み換え食品」「電磁波汚染」など主著・共著多数執筆。

- ・なお、県内の他の地域での開催も予定しております。

12月24日（水） ＊第9回組合員活動協議会（コープあおもり本部）